

2020年7月1日  
株式会社 鹿児島銀行

## 「中・南九州の地域循環共生圏に関する連携協定」の取り組みについて

鹿児島銀行（頭取 松山澄寛）は、今年1月に環境省九州地方環境事務所、株式会社肥後銀行、株式会社大分銀行、株式会社宮崎銀行と「中・南九州の地域循環共生圏に関する連携協定」を締結し、その協定の一環として4行にて以下の取り組みを実施いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行は、SDGs視点の取り組みとESG経営の実践による具体的な施策の展開を通じて、各種地域課題の解決を図り、持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

### 記

#### 1. 脱炭素の取り組み

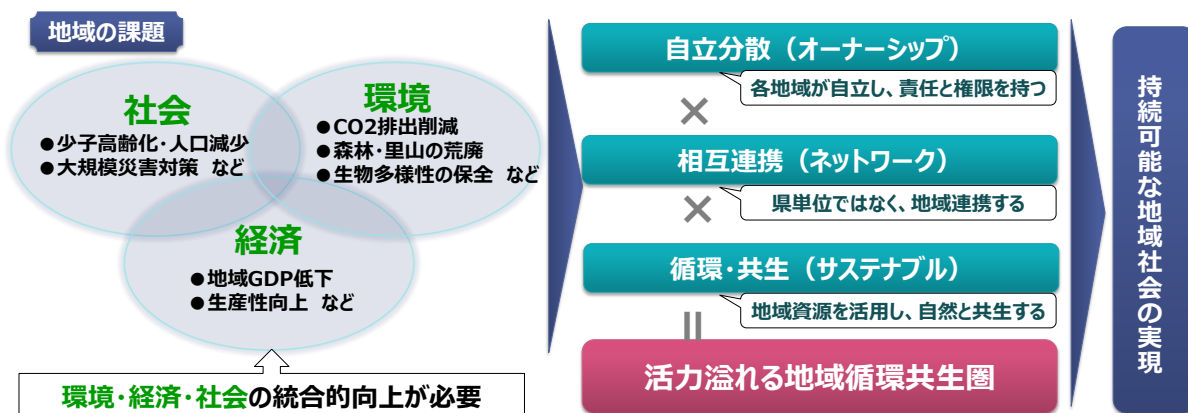
二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）削減の取り組みとして、4行にてお客さまに粗品配付時などに使用するポリ袋を廃止いたしました。ポリ袋の廃止は海洋汚染の原因となるマイクロプラスチックの発生源の削減につながり、SDGs（持続可能な開発目標）にも貢献するものです。今後も脱炭素に向けた取り組みを推進してまいります。

※当行は、2019年10月にポリ袋の新規発注を廃止いたしました。

#### ※地域循環共生圏

各地域が美しい自然景観などの地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方

### 地域循環共生圏とは



以上

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

鹿児島銀行 経営企画部 サステナビリティ推進室  
TEL : 099-239-9725 (ダイヤルイン)